

大鹿村中央構造線博物館たより 109号



2018年6月発行

TEL/FAX:(0265)39-2205 E-MAIL:mtl-muse@osk.janis.or.jp

博物館イベント案内

大鹿村ジオツアー

村内在住の方が通いで参加されるのも歓迎いたします（要事前申し込み）。

日 時：7月7日(土)～8日(日)

集合場所：大鹿村中央構造線博物館 7月7日(土) 午後1時

参加費：1,000円（宿泊の方は、別途宿泊費と弁当代がかかります。）

定 員：20名（定員に達し次第、申し込みを締め切ります）

持 ち 物：歩きやすい靴と服装、雨具、飲み物

申 込 先：大鹿村中央構造線博物館（☎39-2205）

申込締切：6月23日(土) ※日程（内容、時間が変更になる場合があります。）

1日目・7月7日(土)		2日目・7月8日(日)			
到着時間	場所・内容	到着時間	場所・内容	到着時間	場所・内容
12:05	松川インター（送迎バス）	8:00	宿泊先(塩湯荘)前出発	12:20	大西公園(昼食)
12:15	J R伊那大島駅（送迎バス）	8:05	黒部銚次郎の坑道跡	13:30	博物館前の川原で石ひろい
13:10	中央構造線博物館で概要説明	8:45	河合鞍部	14:30	博物館でまとめの会終了
14:20	夕立神展望台	9:10	中尾上部	14:50	送迎バス出発
15:40	福德寺	9:35	中央構造線博物館	16:05	J R伊那大島駅(送迎バス)
16:10	中央構造線博物館	10:40	安康露頭	16:15	松川インター(送迎バス)
17:20	宿泊先(塩湯荘) 到着	11:30	安康南沢		

三遠南信道の天龍峡インターはかつて湖だった？

5月5日の土曜日に、伊那谷自然友の会ジオツアー「天龍峡の出現は初沢断層から」に参加しました。案内者の松島信幸先生は、大鹿村中央構造線博物館創設時に、全体の監修をしてくださった高森町在住の地質学者です。松島先生は、米寿も近い御歳でおられますが、現在も精力的に現場に出向いての調査を続けられています。そして、つい最近になって、天龍峡の南側を北西から南東方向に流れる初沢に沿って、10万年前頃に動いたと思われる断層を新たに見つけられたとのことで、今回のツアーで案内してくださりました。

まだ、調査は現在進行中とのことですが、松島先生は、この初沢断層が動いて、南側が高くなってしまった（写真1）ために、天龍川がせき止められて、北側の三遠南信道の天龍峡インター周辺（写真2）が湖になった時期があったと考えておられるとのことでした。

もう少し広い範囲の地形を見てみたところ（図1）、初沢断層の辺りより南側では、天龍川が谷を深く掘り下げています。天龍川が南に向かって流れ始めた後に、南側の土地が隆起したのかもしれませんが。J R飯田線の秘境駅は、初沢断層を越えた千代駅から始まり、県境を越えて小和田駅まで続きます。（宮崎）



写真1 断層を挟んで南側が30mくらい高い



写真2 断層崖の上から見た、天龍峡インター方面

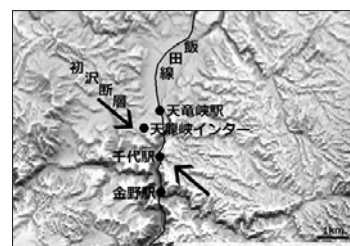


図1 初沢断層より南側では、天龍川が深い谷を刻んでいる